

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

Corteva Agriscience™ は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。このSDSは、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。このSDSは、日本の法規制及びJIS Z 7253に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ゾーベックエンテクタ™SE

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社情報

製造業者/輸入業者

コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社
100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3410
電子メールアドレス : SDS@corteva.com

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 殺菌剤

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

発がん性 : 区分 2

水生環境有害性 短期（急性） : 区分 2

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分 1

GHS ラベル要素

ゾーベックエンテクタ[™]SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 警告

危険有害性情報

: H351 発がんのおそれの疑い。
H401 水生生物に毒性。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き

: **安全対策:**
P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置:
P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P391 漏出物を回収すること。
保管:
P405 施錠して保管すること。
廃棄:
P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
アミスルブロム	348635-87-0	22	8-(3)-1176
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	19	(9)-1692 (9)-1694, (9)-1700, (9)-1702, (9)-1703
プロパンジオール	57-55-6	10	2-234
オキサチアピプロリン	1003318-67-9	4.6	8-(1)-3954
ポリ (オキシエチレン) =アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が	68131-39-5	2.4	7-97 10-1704

ゾーベックエンテクタ[™]SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。)			
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る。)	26264-06-2	1.6	3-1906, 3-1884, 3-1949

4. 応急措置

- | | |
|-----------------------|---|
| 一般的アドバイス
吸入した場合 | : 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
: 新鮮な空気のところへ移す。症状が続く場合には、医療機関で診察を受ける。
人工呼吸あるいは酸素吸入、場合によってはその両方が必要になることがある。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 直ちに汚染された衣服を脱がせる。
皮膚を直ちに多量の水で 15~20 分間洗う。
汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。 |
| 眼に入った場合 | : 目を開け水で 15~20 分間ゆっくり穏やかに洗う。
コンタクトレンズを着用している場合は 5 分後に外し、その後も洗浄を続けること。
中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを
得る。 |
| 飲み込んだ場合 | : 中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを
得る。
飲み込むことが可能ならコップ一杯の水を飲ませる。
毒物管理センターまたは医師からの指示を受けないでおう吐
を誘引しない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 | : 人に対する中毒の例は知られていない、また実験的中毒の症
状も知られていない。 |
| 医師に対する特別な注意事項 | : 症状に応じた治療を行う。 |

5. 火災時の措置

- | | |
|-------------|--|
| 適切な消火剤 | : 水噴霧
耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO2)
粉末消火剤 |
| 使ってはならない消火剤 | : 知見なし。 |
| 特有の危険有害性 | : 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性があ
る。
火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防
止すること。 |
| 有害燃焼副産物 | : 窒素酸化物 (NOx)
炭素酸化物 |

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

- 特有の消火方法 : 汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。
- 安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。
区域から退避させること。
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
- 消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。
保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 十分な換気を確保する。
保護具を使用する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。
- 環境に対する注意事項 : 製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
環境への放出は必ず避けなければならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
広範囲に広まるのを防ぐ（封じ込めまたはオイルバリアなどによる）。
汚染された洗浄水を保管し、処分する。
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。
土壌、排水溝、下水道、水路や地下水への流入を防ぐ。項目12の環境影響情報を参照。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 適切な吸収剤を使って流出の残余物を除去する。
本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。
大規模な流出の場合は、物質が広がらないように、堤防で囲うか、他の適切な封じ込めを行う。堤防で囲った物質をポンプで汲み出せるのであれば、回収物質は、ベント付き容器に保管すること。
漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。
吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。
石灰、アルカリ溶液、またはアンモニアで中和する。
不活性の吸収材（例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず）で吸収させる。
追加情報として、項目13の廃棄上の注意を参照。

ゾーベックエンテクタ[™]SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項 : エアゾールの発生を避けること。
作業室の換気や排気を十分に行う。
十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
曝露を避ける－使用前に特別指示を受ける。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
蒸気やミストの吸い込みを避けること。
飲み込まない。
皮膚や眼への接触を避けること。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第8項、暴露防止及び保護措置を参照。
- 接触回避 : 強酸
強塩基類
- 衛生対策 : 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。
取扱後および飲食、ガム、タバコの使用前、またはトイレ使用前には、石鹼と水でよく手を洗う。
粉じんまたは蒸気の呼吸を避ける。

保管

- 安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。
適切なラベルのついた容器に入れておく。
各国の規定に従って保管する。
- 混触禁止物質 : 酸の近くに保管しない。
強酸化剤
- 安全な容器包装材料 : 適さない材質: 知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 濃度基準値 / 許容濃度	出典
ホワイトミネラルオイル (石油)	8042-47-5	OEL-M (ミスト)	3 mg/m3	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 発がん物質、第1群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。この群に分類される物質は、疫学研究からの十分な証拠がある。			
		TWA (吸入濃度)	5 mg/m3	ACGIH

ゾーベックエンテクタ[™]SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

オキサチアピプロリン	1003318-67-9	TWA (吸引性 粉じん)	5 mg/m3	Corteva OEL
------------	--------------	------------------	---------	-------------

設備対策 : 特に、閉所では十分な換気の確保が必要。

保護具

呼吸用保護具 : 適切な許容限界を超えた濃度で、空気中の浮遊物質に暴露される可能性がある場所では、承認されたダストおよびミスト用カートリッジ付呼吸保護具を着用すること。

手の保護具

備考 : この物質に対し耐薬品性のある手袋を用いること。望ましい手袋の素材の例：ブチルゴム。塩素化ポリエチレン。ポリエチレン。エチルビニルアルコールラミネート (EVAL)。許容できる手袋の素材の例：天然ゴム (ラテックス)。ネオプレン。ニトリル/ブタジエンゴム (ニトリルまたは NBR)。ポリ塩化ビニル (PVC または ビニル)。バイトン。注意：特定の用途と作業場での使用時間に適合した手袋を選択するとき、以下に記す要件をはじめとして、作業上の要件をすべて考慮に入れる必要がある：取り扱う可能性がある他の化学物質、物理的要件（切傷・刺し傷の予防、機敏さ、熱の防護）、手袋の供給業者からの説明書・仕様書。

眼の保護具 : サイドシールドのある保護眼鏡を着用する。
この物質が跳ね上げ、スプレー、空中飛散により顔に触れる可能性がある場合には、顔面保護具も着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を着用する。
カバーオール
すべて 14 mil 以上の厚みのある、カテゴリー A（ブチルゴム、天然ゴム、ネオプレンゴム、またはニトリルゴムなど）の、耐薬品性手袋。
靴とソックス

保護対策 : 特定の作業場に存在する危険物質の濃度および量に応じて、保護装置のタイプを選択しなければならない。
化学薬品用防護服は全て、使用前に目視点検をすること。服および手袋が、化学薬品で汚染されている、あるいは、物理的損傷を受けている場合は交換すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 類白色

臭い : データなし

融点／凝固点 : 非該当

沸点／沸騰範囲 : データなし

可燃性（液体） : 非該当

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界
爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし
値

爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし
値

引火点 : > 100 ° C

分解温度 : データなし

pH : データなし

自然発火点 : データなし

粘度
粘度(粘性率) : データなし

動粘度 (動粘性率) : データなし

溶解度
水溶性 : 不溶

n-オクタノール／水分配係数 : データなし
(log 値)

蒸気圧 : データなし

密度及び／又は相対密度
密度 : 1.1～1.2 g/cm3

相対ガス密度 : データなし

粒子特性
粒子サイズ : 液体には該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性 : 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性 : 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
通常の状態では安定。

危険有害反応可能性 : 推奨保管条件下では安定。
特に言及すべき危害要因はない。

避けるべき条件 : 知見なし。
混触危険物質 : 強酸
強塩基類

ゾーベックエンテクタ[™]SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

危険有害な分解生成物 : 炭素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 423
症状: この濃度では死に至らない。
備考: 情報源: 内部試験報告書
- 急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット、オスおよびメス): > 5.2 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 436
備考: 情報源: 内部試験報告書
- 急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット、メス): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402
症状: この濃度では死に至らない。

成分:

アミスプロロム:

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
- 急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): > 2.85 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
- 急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

ホワイトミネラルオイル (石油) :

- 急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401
- 急性毒性 (吸入) : 備考: ミストは上気道(鼻と喉)を刺激することがある。
物性上、蒸気は発生しにくい。
鉱油のミストに過剰暴露すると、肺障害(リポイド肺炎)を起こすことがある。
過剰暴露は下記の症状を引き起こすことがある :
協調障害。
- LC50 (ラット、オスおよびメス): > 5 mg/l
曝露時間: 4 h

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 403
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 2,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

プロパンジオール:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 20,000 mg/kg

急性毒性 (吸入) : LC50 (ウサギ): 317.042 mg/l
曝露時間: 2 h
試験環境: 粉じん/ミスト
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: ミストは上気道(鼻と喉)を刺激することがある。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ): > 2,000 mg/kg
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

オキサチアピプロリン:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
アセスメント: この物質または混合物は急性の経口毒性は無い。

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): > 5.1 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg

ポリ (オキシエチレン) =アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。):

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 1,000 mg/kg
方法: 推定値。

急性毒性 (吸入) : LC50 (ラット): 1.6 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: 類似物質について

備考: 数分間の短時間暴露では、有害影響は起こりにくい。

急性毒性（経皮）： LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。）:

急性毒性（経口）： LD50 (ラット, オスおよびメス): 1,300 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性

製品:

種	: ウサギ
方法	: OECD 試験ガイドライン 404
結果	: 皮膚刺激なし
GLP	: 該当
備考	: 情報源: 内部試験報告書

成分:

アミスルブロム:

種	: ウサギ
結果	: 皮膚刺激なし

プロパンジオール:

種	: ウサギ
結果	: 皮膚刺激なし

オキサチアピプロリン:

種	: ウサギ
結果	: 皮膚刺激なし

ポリ（オキシエチレン）=アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。）:

種	: ウサギ
結果	: 皮膚刺激性

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。）:

種	: ウサギ
方法	: OECD 試験ガイドライン 404

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

結果 : 皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

製品:

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激なし
方法	: OECD 試験ガイドライン 405
備考	: 情報源: 内部試験報告書

成分:

アミスルブロム:

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激

プロパンジオール:

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激なし

オキサチアピプロリン:

種	: ウサギ
結果	: 眼への刺激なし

ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。）:

種	: ウサギ
結果	: 腐食性

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る。）:

種	: ウサギ
結果	: 腐食性
方法	: OECD 試験ガイドライン 405

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:

試験タイプ	: 局所リンパ節増殖試験（LLNA）
種	: マウス
アセスメント	: 皮膚感作性なし
方法	: OECD テストガイドライン 429
備考	: 情報源: 内部試験報告書

ゾーベックエンテクタTMSE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

成分:**アミスルブロム:**

種	: モルモット
結果	: 皮膚感作性なし

ホワイトミネラルオイル（石油）:

種	: モルモット
結果	: 皮膚感作性なし

プロパンジオール:

種	: ヒト
結果	: 皮膚感作性なし

オキサチアピプロリン:

試験タイプ	: マキシマイゼーション試験
種	: モルモット
結果	: 皮膚感作性なし

ポリ（オキシエチレン）=アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。）:

種	: モルモット
結果	: 皮膚感作性なし

生殖細胞変異原性**成分:****アミスルブロム:**

生殖細胞変異原性 - アセスメント	: In vitro 試験で、突然変異誘発性が示されなかった。In vivo 試験で、突然変異誘発性が示されなかった。
-------------------	---

ホワイトミネラルオイル（石油）:

生殖細胞変異原性 - アセスメント	: In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。
-------------------	-----------------------------

プロパンジオール:

生殖細胞変異原性 - アセスメント	: In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。
-------------------	--

オキサチアピプロリン:

生殖細胞変異原性 - アセスメント	: 動物遺伝毒性試験は陰性だった。
-------------------	-------------------

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

発がん性**成分:****アミスルブロム:**

発がん性 - アセスメント : 実験動物で発がん性が認められた。動物実験において発がん性の限定的な証拠がある。

ホワイトミネラルオイル (石油) :

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

プロパンジオール:

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

オキサチアピプロリン:

発がん性 - アセスメント : 動物試験では発がん性はなかった。

生殖毒性**成分:****アミスルブロム:**

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。
動物試験で、催奇形性はなかった。

ホワイトミネラルオイル (石油) :

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。
動物試験で、催奇形性はなかった。

プロパンジオール:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。動物試験では、繁殖性を阻害しなかった。
動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

オキサチアピプロリン:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。
動物実験では退治発育への影響は無かった。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)**製品:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

成分:**アミスルブロム:**

アセスメント : 入手可能データは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

ホワイトミネラルオイル（石油）:

アセスメント : 入手可能データは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

プロパンジオール:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（単回ばく露）を示さない。

オキサチアピプロリン:

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質（単回ばく露）としては区分に該当しない。

ポリ（オキシエチレン）=アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。）:

アセスメント : 入手可能データは特定標的臓器毒性（単回ばく露）を決定するには不十分である。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）**製品:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（反復ばく露）を示さない。

成分:**オキサチアピプロリン:**

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質（反復ばく露）としては未分類。

反復投与毒性**成分:****アミスルブロム:**

備考 : 入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、顕著な有害影響は予期されない。

ホワイトミネラルオイル（石油）:

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

備考 : 入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、追加的な顕著な有害影響は予期されない。

プロパンジオール:

備考 : プロピレングリコールに反復過剰暴露すると、まれに中枢神経系影響を起こすことがある。

オキサチアピプロリン:

備考 : 入手可能なデータによると、繰り返し暴露では、高濃度エアゾール以外は、顕著な有害影響を起こすと予期されない。繰り返し過度のエアゾールへの暴露は、呼吸器官に刺激を与え、場合によっては死に至る恐れもある。

ポリ (オキシエチレン) =アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。):

備考 : 入手可能なデータによると、繰り返し暴露で、追加的な顕著な有害影響は予期されない。

誤えん有害性**製品:**

誤えん有害性には分類されていない。

成分:**アミスルブロム:**

物性上、誤えん有害性は低い。

ホワイトミネラルオイル (石油):

この物質または混合物は人が吸引すると毒性の危険があることが知られている。または、人による吸引毒性の危険を生じるものであると見なさなければならない。

プロパンジオール:

物性上、誤えん有害性は低い。

オキサチアピプロリン:

入手可能な情報によると、誤えん有害性は確定されていない。

ポリ (オキシエチレン) =アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。):

入手可能な情報によると、誤えん有害性は確定されていない。

ゾーベックエンテクタ[™]SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

- 魚毒性 : LC50 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): > 99 mg/l
曝露時間: 96 h
備考: 情報源: 内部試験報告書
- ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (*Daphnia magna*): 4.84 mg/l
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 半止水式
方法: OECD 試験ガイドライン 202
備考: 情報源: 内部試験報告書
- 藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (*Raphidocelis subcapitata* (淡水性緑藻)): > 100 mg/l
エンドポイント: 成長速度
曝露時間: 72 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 201
備考: 情報源: 内部試験報告書
- EyC50 (*Raphidocelis subcapitata* (淡水性緑藻)): 0.573 mg/l
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 201
- 最大無影響濃度 (*Raphidocelis subcapitata* (淡水性緑藻)): 0.00640 mg/l
エンドポイント: 成長速度
曝露時間: 72 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 201
- 土中生物に対する毒性 : EC50 (*Eisenia fetida* (ミミズ)): 221 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 222
- 地上生物に対する毒性 : 経口 LD50 (*Apis mellifera* (ミツバチ)): > 262 µg/bee
曝露時間: 24 h
方法: OECD 試験ガイドライン 213
- 接触 LD50 (*Apis mellifera* (ミツバチ)): > 250 µg/bee
曝露時間: 24 h
方法: OECD 試験ガイドライン 214
- 経口 LD50 (*Apis mellifera* (ミツバチ)): > 262 µg/bee
曝露時間: 48 h

ゾーベックエンテクタTMSE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

方法: OECD 試験ガイドライン 213

接触 LD50 (*Apis mellifera* (ミツバチ)): > 250 µg/bee

曝露時間: 48 h

方法: OECD 試験ガイドライン 214

成分:**アミスルプロム:**

魚毒性 : LC50 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): 0.0515 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 0.0368 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

藻類／水生生物に対する毒性 : EC50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 0.0225 mg/l
曝露時間: 96 h

M-ファクター (水生環境有害 : 10
性 短期 (急性))

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (*Pimephales promelas* (ファットヘッドミノ
ウ)): 0.037 mg/l
曝露時間: 28 d

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 0.0197 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 21 d

M-ファクター (水生環境有害 : 1
性 長期 (慢性))

ホワイトミネラルオイル (石油) :

魚毒性 : LC50 (*Lepomis macrochirus* (ブルーギル)): > 10,000 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験

LC50 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 203

LC50 (*Leuciscus idus* (コイの一種)): > 10,000 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : LC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): > 100 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

方法: OECD 試験ガイドライン 202

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

水生環境有害性 長期 (慢性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

プロパンジオール:

魚毒性 : LC50 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): 40,613 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性 : LC50 (*Ceriodaphnia dubia* (ミジンコ)): 18,340 mg/l
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 19,000 mg/l
エンドポイント: 生長率阻害
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

ミジンコ等の水生無脊椎動物 に対する毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (*Ceriodaphnia dubia* (ミジンコ)): 13,020 mg/l
エンドポイント: 子孫の数
曝露時間: 7 d
試験タイプ: 半止水式

微生物に対する毒性 : 最大無影響濃度 (*Pseudomonas putida* (シュードモナス - プチダ)): > 20,000 mg/l
曝露時間: 18 h

オキサチアピプロリン:

魚毒性 : LC50 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): > 0.69 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式

LC50 (*Lepomis macrochirus* (ブルーギル)): > 0.74 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式

LC50 (*Cyprinodon variegatus* (シースヘッドミノー)): > 0.65 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

方法: OPPTS 850.1075

GLP: 該当

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 0.67 mg/l
に対する毒性
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (*Skeletonema costatum* (スケルトネマ・コスタトゥム)): 0.351 mg/l
曝露時間: 96 h

ErC50 (*Pseudokirchneriella subcapitata* (緑藻)): 0.142 mg/l
曝露時間: 96 h

M-ファクター (水生環境有害性 短期 (急性)) : 1
魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (*Oncorhynchus mykiss* (ニジマス)): 0.46 mg/l
曝露時間: 88 d

最大無影響濃度 (*Cyprinodon variegatus* (シープスヘッドミノー)): 0.34 mg/l
曝露時間: 35 d

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 0.75 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 21 d
試験タイプ: 半止水式

最大無影響濃度 (*Americamysis bahia* (甲殻類、ミシッドシュリンプ)): 0.058 mg/l
曝露時間: 32 d
試験タイプ: 流水式試験

M-ファクター (水生環境有害性 長期 (慢性)) : 1
地上生物に対する毒性 : LD50 (*Colinus virginianus* (コリンウズラ)): > 2,250 mg/kg
方法: OPPTS 850.2100

LD50 (*Poephila guttata* (キンカチョウ)): > 2,250 mg/kg
方法: OPPTS 850.2100

混餌 LC50 (*Colinus virginianus* (コリンウズラ)): > 5,620 mg/kg
曝露時間: 5 d
方法: OECD 試験ガイドライン 205

混餌 LC50 (*Anas platyrhynchos* (マガモ)): > 5,620 mg/kg
曝露時間: 5 d
方法: OECD 試験ガイドライン 205

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

ポリ (オキシエチレン) =アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。):

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.14 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Selenastrum capricornutum (緑藻)): 0.75 mg/l
曝露時間: 72 h
備考: 類似物質について

(Pseudokirchneriella subcapitata (ムレミカヅキモ)):
0.07 mg/l
エンドポイント: NA
曝露時間: 96 h
方法: 方法不特定

M-ファクター (水生環境有害 : 1

性 短期 (急性))

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノ
ウ)): 0.16 mg/l
エンドポイント: 死亡率
曝露時間: 10 d
試験タイプ: 流水式

最大無影響濃度 (Pimephales promelas (ファットヘッドミノ
ウ)): 0.28 mg/l
曝露時間: 30 d

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.77 mg/l
に対する毒性 (慢性毒性) 曝露時間: 21 d

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る。):

魚毒性 : LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): 2.8 mg/l
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式
方法: OECD 試験ガイドライン 203

残留性・分解性

製品:

生分解性 : 備考: 易分解性ではない。
活性成分のデータに基づく推定

成分:

アミスルブロム:

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

生分解性 : 結果: 分解性なし
備考: この物質は OECD/EC ガイドラインで易生分解性ではなかった。

ホワイトミネラルオイル（石油）:

生分解性 : 好気性
含有量: 20 mg/l
結果: 分解性なし
生分解: 0 - 24 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 301B あるいは同等のもの
備考: 厳格な OECD 試験において、この物質は易分解とは分類されないが、しかしこれらの結果は、この物質が環境中で生分解しないと必ずしも意味するものではない。
物質は本質的に生分解性である。OECD の本質的生分解性試験では生物分解は 20%を超える。
10-day Window: 不合格

ThOD : 3.50 kg/kg

光分解性 : 試験タイプ: 半減期（間接光分解）
感作性: OH ラジカル
速度定数: 8.28×10^{-12} cm³/s
方法: 推定値。

プロパンジオール:

生分解性 : 好気性
結果: 易分解性
生分解: 81 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 301F あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 合格

結果: 易分解性
生分解: 96 %
曝露時間: 64 d
方法: OECD テストガイドライン 306 あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 非該当

生化学的酸素要求量 (BOD) : 69.000 %
インキュベーション時間: 5 d

70.000 %
インキュベーション時間: 10 d

86.000 %
インキュベーション時間: 20 d

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

化学的酸素要求量 (COD) : 1.53 kg/kg

ThOD : 1.68 kg/kg

光分解性 : 速度定数: 1.28E-11 cm³/s
方法: 推定値

オキサチアピプロリン:

生分解性 : 結果: 分解性なし

ポリ (オキシエチレン) =アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。):

生分解性 : 好気性
接種: 活性汚泥、生活排水、非馴化
含有量: 20 mg/l
結果: 易分解性。
生分解: 61 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 301B あるいは同等のもの
備考: 物質は易分解性である。OECD 易分解性試験に合格している。
10-day Window: 不合格

生体蓄積性

製品:

生体蓄積性 : 備考: 生物濃縮されない。
活性成分のデータに基づく推定

成分:

アミスルブロム:

生体蓄積性 : 備考: 生物蓄積の可能性は低い。

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 4.4
(log 値)

ホワイトミネラルオイル (石油):

生体蓄積性 : 種: 魚類
生物濃縮因子 (BCF) : 1,900

プロパンジオール:

生体蓄積性 : 生物濃縮因子 (BCF) : 0.09
方法: 推定値

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -1.07
(log 値) 方法: 測定値

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

備考: 生物濃縮の可能性は低い。(BCF: < 100 または Log Pow: < 3)

オキサチアピプロリン:

生体蓄積性 : 生物濃縮因子 (BCF) : 62

ポリ (オキシエチレン) =アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。) :

生体蓄積性 : 生物濃縮因子 (BCF) : 81.07
方法: 計算値

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 3.4
(log 値) 方法: 推定

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (アルキル基の炭素数が 10 から 14 までのもの及びその混合物に限る。) :

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 4.77 (25 ° C)
(log 値)

土壤中の移動性**製品:**

環境中の分布 : 備考: 製品は土壤中で移動するとは考えられていない。

成分:**プロパンジオール:**

環境中の分布 : Koc: < 1
方法: 推定値
備考: ヘンリー定数が極めて低いので、自然水系や湿った土壌からの蒸発は多くないと考えられる。
土壌中移動性がきわめて大きい(Koc: 0~50)。

ポリ (オキシエチレン) =アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。) :

環境中の分布 : 備考: 関連のあるデータは得られていない。

オゾン層への有害性**成分:****ホワイトミネラルオイル (石油) :**

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

プロパンジオール:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

ポリ（オキシエチレン）=アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。）:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

他の有害影響**成分:****ホワイトミネラルオイル（石油）:**

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

プロパンジオール:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性(vPvB)があるとは考えられていない。

ポリ（オキシエチレン）=アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。）:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性(PBT)は評価されていない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

以下の情報は購入時の状態のときのみ適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を決める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。

内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number)	: UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Oxathiapiprolin, Amisulbrom)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 9
環境有害性	: 該当

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	: UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	: Environmentally hazardous substance, liquid, n. o. s. (Oxathiapiprolin, Amisulbrom)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: Miscellaneous
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft))	: 964
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft))	: 964

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number)	: UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Oxathiapiprolin, Amisulbrom)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 9
EmS コード (EmS Code)	: F-A, S-F
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant)	: 該当 (Oxathiapiprolin, Amisulbrom)
備考	: Stowage category A

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

詳細情報

国連番号 3077 及び 3082 に割り当てられた海洋汚染物質は、液体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味容量が 5L 以下、固体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味質量が

ゾーベックエンテクタ[™]SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

5kg 以下の単一もしくは組合せ容器において、IMDG コードセクション 2.10.2.7、IATA 特別規定 A197 および ADR/RID 特別規定 375 に規定されるように、非危険物として輸送することができる。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

15. 適用法令

関連法規

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）*1

化学名	含有量 (%)	備考
3 - (3 - ブロモ - 6 - フルオロ - 2 - メチルインドール - 1 - イルスルホニル) - N, N - ジメチル - 1, 2, 4 - トリアゾール - 1 - スルホンアミド	>=20 - <30	2026 年 4 月 1 日以降
鉱油	>=10 - <20	-
プロパン - 1, 2 - ジオール	>=10 - <20	2025 年 4 月 1 日以降
ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。)	>=1 - <10	2025 年 4 月 1 日以降

*1 2025 年 4 月 1 日以降、法第 57 条の 2（規則別表第 2）

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	備考
3 - (3 - ブロモ - 6 - フルオロ - 2 - メチルインドール - 1 - イルスルホニル) - N, N - ジメチル - 1, 2, 4 - トリアゾール - 1 - スルホンアミド	2026 年 4 月 1 日以降
鉱油	-
プロパン - 1, 2 - ジオール	2025 年 4 月 1 日以降
ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。)	2025 年 4 月 1 日以降

皮膚等障害化学物質 不浸透性の保護具等の使用義務物質（労働安全衛生規則第 594 条の 2）

化学名
ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。)

毒物及び劇物取締法

非該当

ゾーベックエンテクタ[™]SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

化学物質排出把握管理促進法

第一種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
3- (3-ブromo-6-フルオロ-2-メチル インドール-1-イルスルホニル) -N, N-ジメチル-1, 2, 4-トリアゾール- 1-スルホンアミド	724	22
ポリ (オキシエチレン) =アルキルエー テル (アルキル基の炭素数が12から1 5までのもの及びその混合物に限る。)	407	2.4
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びそ の塩 (アルキル基の炭素数が10から1 4までのもの及びその混合物に限る。)	30	1.6

農薬取締法

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。 ACGIH 限界閾値 (TLV)
Corteva OEL : Corteva Occupational Exposure Limit
日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度
ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均
Corteva OEL / TWA : 時間加重平均 (TWA)
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度

ADR - 陸路による 危険物品の国際輸送に関する協定; ASTM - 米国材料試験協会; ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと 考えられる濃度; EmS - 緊急時のスケジュール; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学 品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害 濃度; IMDG - 国際 海上危険物規程; IMO - 国際海事機関. LC50 - 50%致死濃度. LD50 -50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; RID - 欧州危険物国際鉄道輸送規則; SDS - 安全データシート; UN - 国連. ENCS - 化審 法の既存化学物質リスト
ISHL - 労働安全衛生法

製品コード: GF-3917

ゾーベックエンテクタ™SE

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/07/11
0.0	2025/02/12	800080100181	初回作成日: 2022/08/24

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA